

2019年4月12日

～NCB九州活性化ファンド～
「きゅうぶつ株式会社」への投資実行について

当社の子会社である西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、本日、『きゅうぶつ株式会社』への投資実行について」を公表しましたので、お知らせします。

詳細は、別紙をご参照ください。

以 上

2019年4月12日

～NCB九州活性化ファンド～
「きゅうぶつ株式会社」への投資実行について

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、「NCB九州活性化ファンド」（以下「本ファンド」）において、「きゅうぶつ株式会社（代表取締役 伊藤 隆治）」（以下「当社」）の無担保普通社債の引受けを行いましたので、お知らせします。

当行は、地域金融機関として、本ファンドを通じて今後の成長に向かう確かな事業性を有する九州の大手・中堅企業へ、資本であるエクイティ・優先株や、劣後ローンなどのメザニンファイナンス等の多様な金融サービスを提供することで、地域経済の更なる活性化を積極的に支援してまいります。

記

1. 対象企業の概要

会社名	きゅうぶつ株式会社
所在地	大分県日田市大字西有田 274-1
代表者	代表取締役 伊藤 隆治
創業	1949年2月
事業内容	フリーズドライ製品の製造、椎茸の加工販売及び市場運営
投資形態	無担保普通社債
金額	1億2千万円

2. 投資の理由

（1）安定した事業基盤

当社は、フリーズドライ事業において、販売先である大手即席麺メーカーからの要求水準に対応した安定した高品質の商品供給体制を有し、全国でもトップクラスの販売実績を有しています。

特に、椎茸事業においては、大分県の特産品である椎茸の乾椎茸市場運営及び加工販売において、創業以来70年の実績により、百貨店や大手販売店からも高い信頼を得ています。

（2）今後の成長性

当社の事業領域において、販売先である大手製造メーカーからの高い要求水準に対応できる事業者は限られており、当社の高品質な商品へのニーズが高まると予想されます。

また、核家族化や食の簡便化の進展により、特にフリーズドライ事業において、市場ニーズが高まることが期待されています。

（3）地域経済の活性化

今後の事業展開として、全国生産量4位の特産品である柚子や地元農産物等を活用した新商品の開発も計画しており、日田地域全体の経済活性化及び雇用の創出に繋がることが期待されます。

以上

参 考

『NCB九州活性化ファンドについて』

本ファンドは、多様な成長資金の供給により、地域経済の活性化・雇用の創出に資する地場企業の支援を目的に、株式会社地域経済活性化支援機構（代表取締役社長 林 謙治）、株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長 渡辺 一）と共同出資により設立しました。

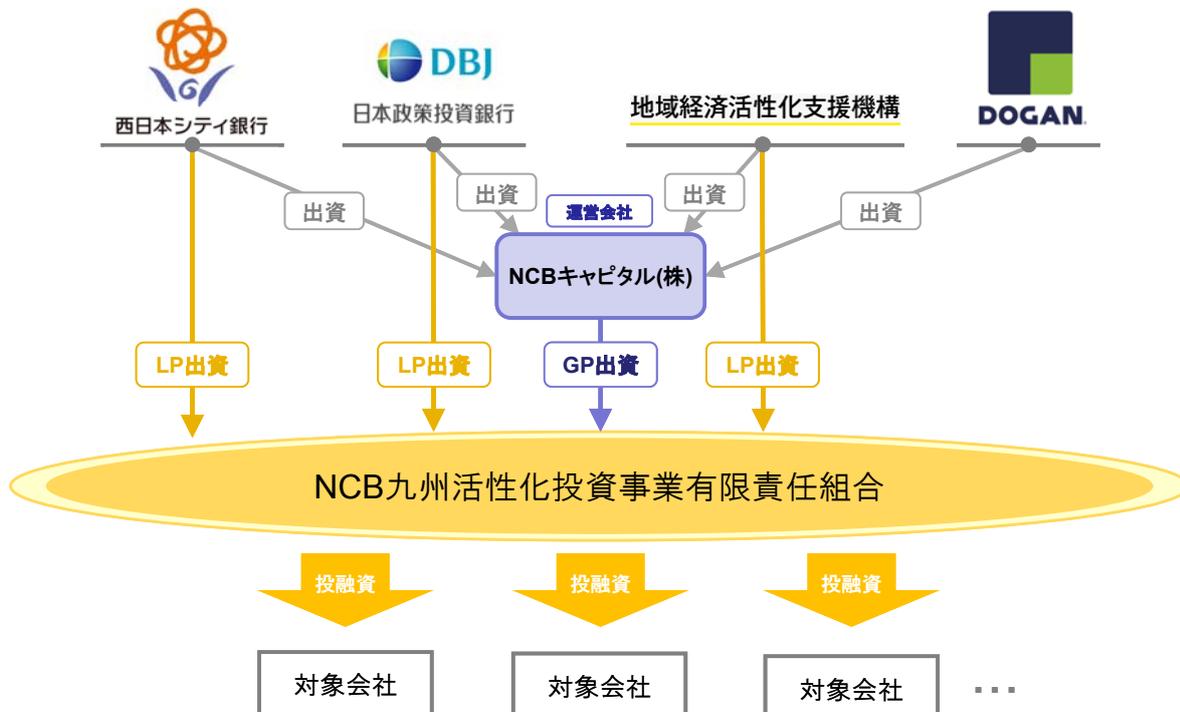
1. ファンドの概要

名 称	NCB九州活性化投資事業有限責任組合
設立日	2015年1月31日
ファンド総額	50億円
無限責任組合員 (GP: General Partner)	NCBキャピタル株式会社
有限責任組合員 (LP: Limited Partner)	株式会社 西日本シティ銀行 株式会社 地域経済活性化支援機構 株式会社 日本政策投資銀行

2. 運営会社 (GP: General Partner) の概要

名 称	NCBキャピタル株式会社
設立日	2015年1月5日
株 主	株式会社 西日本シティ銀行 株式会社 地域経済活性化支援機構 株式会社 日本政策投資銀行 株式会社 ドーガン
代表取締役	石田 保之(株式会社NCBリサーチ&コンサルティング代表取締役)

3. ファンドスキーム図



本件に関するお問い合わせ先
 法人ソリューション部 渡辺・多良木 TEL092-476-2741